

編集後記

という意見を強力に述べる人も多いという。恐らく、その人たちは、自分でどんなふうにも子どもを過したのかを、すっかり忘れてしまったのだろう。

◇ ロスアンゼルス市では大気汚染の防止策として、一九七七年よりガソリンの配給制度を実施するという。その一方では石油資源の枯渇が益々深刻な現実問題となりつつある。灯油やガソリン、電気等の使用制限が行なわれる日も、そう遠い将来ではなさそうである。

◇ 出島村に帆曳網の創始者の子孫が居ると聞き出かけて行った。湖に面した一軒の農家で、発明家折本良平氏の四代目、折本幹氏は、いろいろと面白い話を聞かせてくれた。彼は、ついこの間まで、ワカサギが水の色の変わる程、帯をなして泳ぎ、漁民や湖岸の人々は湖の水をすくって茶を沸かし、飯を炊いたのだということを懐しげに話した。このような話は、まるで遠い国の昔し語りのように聞こえる。

数千年の、豊かで美しい歴史を持つ霞ヶ浦は、僅か二十年の間に、みる影もなく汚れてしまった。あと二十年たった時、この湖はどうなっているだろう。

◇ 桜川の土堤の桜川橋から土浦橋にかけては、両側とも、市道18号19号になっていて、車の通行を禁止することは難かしいらしい。議員や商店主や地元の人々の中には、土堤を舗装して、どんどん車を通したらい

「桜川」第三号

発行日 昭和四十八年三月一日

発行所 土浦の自然を守る会

編集人 佐賀純 一

連絡先 土浦の自然を守る会

事務所(土浦市小桜町)
TEL 0357

印刷所 大石 騰 写 堂

土浦市荒川沖町